

# 令和4年度埼玉支部 保険者機能強化予算執行実績について

## 埼玉支部 保険者機能強化予算執行実績(令和4年度)

	分野	予算額(単位:千円)	執行額(単位:千円)	R4 執行率	R3 執行率
医療費適正化対策等予算	医療費適正化対策	9,624千円	2,112千円	21.9%	7.0%
	広報・意見発信	13,885千円	11,194千円	80.6%	76.4%
	合計 ①	23,509千円	13,306千円	56.6%	38.4%
保健事業予算	健診経費	75,029千円	52,363千円	69.8%	50.7%
	保健指導経費	4,106千円	1,180千円	28.8%	35.2%
	重症化予防事業経費	29,978千円	19,855千円	66.2%	79.3%
	コラボヘルス事業経費	14,966千円	9,251千円	61.8%	9.3%
	その他の経費	15,287千円	6,551千円	42.9%	86.8%
	合計 ②	139,366千円	89,203千円	64.0%	54.5%
合計	①+②	162,875千円	102,506千円	62.9%	52.1%

※ 各分野の実施状況等については次ページ以降に掲載。なお、中間評価時の血液検査等の保健指導経費等は省略している。

※ 予算額及び執行額は千円未満の端数整理のため、次ページも含め、合計及び執行率と整合しない場合がある。

# 医療費適正化等予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	実施状況	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
医療費適正化対策等予算	医療費適正化対策(企画部門)	継続	ジェネリック医薬品メーカーの工場見学(親子向け)	小学生以下の子どもと保護者の方をターゲットに、社会科見学として、ジェネリック医薬品メーカーの工場見学を実施する。	330千円	ジェネリック医薬品業界等において、依然として在庫不足の状況が続いている。実施を予定していた夏休みに急速に収束するとは考えにくいため見送り	0千円	0.0%	—	継続
		継続	ジェネリック医薬品使用促進に向けた広報	ジェネリック医薬品使用促進を目的として、様々な手法による広報活動を実施する。≪例≫駅、公共施設などに設置されているデジタルサイネージの活用や大手検索サイトのバナー広告など。	8,415千円	ジェネリック医薬品業界等において、依然として在庫不足の状況が続いており、安定供給ができない状況が変わらないため、大々的な工法を実施することで、医療現場の混乱・加入者の困惑等を招くことが想定されるため、見送り	0千円	0.0%	—	無
		新規	ジェネリック医薬品使用促進に向けた座談会の開催	ジェネリック医薬品使用促進に向け、有識者等による座談会を開催。その採用を地元新聞社に掲載し啓発を図る。	879千円	出席者:支部長、埼玉県保健医療部長、日本ジェネリック製薬協会会長(高田製薬社長)、埼玉県薬剤師会会長 ジェネリック医薬品の現状、飲み薬以外のジェネリック医薬品の工夫、先発薬との違いに着目した広報の実施が必要など各専門分野からの幅広い意見交換を実施。座談会の様子は、埼玉新聞社の特集記事として掲載	2,112千円	240.3%	品質管理・安定供給への不安があるなかではあるが、単なるジェネリック医薬品の普及促進ではなく、各分野の専門家からみたジェネリック医薬品の状況が意見交換できたので、紙面を通し購読者に伝わったと思われる。附随する広報を掲出することで、座談会特集ページを全面で広報できたため、費用を抑えつつ効果的な広報を実施できた。	継続

※ 予算額及び執行額は千円未満の端数整理のため、合計額及び執行率と整合しない場合がある。

## 支部医療費適正化等予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
広報・意見発信	その他の広報	継続	紙媒体による広報	広報誌、制度案内リーフレット、新様式DL等の利用促進リーフレット等。	6,000千円	広報誌、制度案内リーフレット、新様式DL等の利用促進リーフレット等。	3,210千円	53.5%	健康保険制度・健康づくりなどについて、各種広報誌で周知を行うことができた。	継続
		継続	新規加入事業所説明会	新規加入事業所を対象とした説明会を開催し、健康保険制度等の理解を深めてもらうとともに協会けんぽと事業所の距離を縮めることで事業運営の円滑化を図る。	1,814千円	新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、YouTube動画を配信。また、健康保険給付申請書の新様式への変更に伴い、書き方動画を作成し、YouTubeで配信した。	2,132千円	117.5%	新規加入事業所6,000件に対し、再生回数が1,400回以上となっており、23%の視聴があることから一定の効果はあったと考える。	継続
		継続	地元新聞紙面を活用した意見発信	健診受診勧奨やジェネリック医薬品使用促進等に関する情報を新聞紙面を活用することで、効率的に情報発信して健康づくり・医療費適正化等、地域医療に対する加入者及び事業主の意識醸成を図る。	1,100千円	・糖尿病重症化予防に関わる座談会の特集記事横に糖尿病重症化予防の重要性、健診受診促進に関する広報を掲載。 ・健康経営セミナー特集記事横に健康経営の重要性、健診受診促進に関する記事を掲載。 ・埼玉新聞の特集号に支部長メッセージを掲載し、知名度・取り組み内容の周知を図った。	1,430千円	130.0%	協会けんぽの取組みについて、費用は抑えながら、埼玉新聞を購読している埼玉県民に広く周知できたものと考えている。	継続

# 支部医療費適正化等予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度実施
広報・意見発信	その他の広報	継続	セルフケア等の普及促進に関する事業	セルフケア意識の向上などを目的とした広報を実施。また、日頃の健康管理や生活習慣の改善方法等に加え、医療のわかり方、かかりつけ薬剤師などについて周知を行い、医療費の適正化につなげる。	2,000千円	JR,バスなどの公共交通機関への中ぶり広告、駅構内でのデジタルサイネージ等を検討したが、在宅ワーク、遠隔システム等を活用した大学の授業が多くなり、公共交通機関の利用者が減ったことにより、費用対効果を考えて実施を見送った。	0千円	0%	—	無
		継続	地元メディア(テレビ)を活用した受診勧奨等	特定健診の受診率向上及び特定保健指導の利用推進、ジェネリック医薬品使用促進等のため、地元テレビ局等の地域密着型情報番組で番組内パブリシティを放送し、加入者への呼びかけを行っていく。	1,320千円	テレビ埼玉の番組「マチコミ」内の情報コーナーを活用した広報を年度内3回実施。 ①口腔ケアと生活習慣病 ②生活習慣病予防と健診 ③年に一度は健(検)診を	1,122千円	85.0%	テーマに沿った出演者を選出し、テレビ埼玉を視聴している埼玉県民に広く周知できたものと考えている。	継続
		新規	地元メディア(ラジオ)を活用した受診勧奨等	運送業やタクシー運転手等、よくラジオを聴く職種をターゲットに、健診の重要性や健康づくり情報等について、地元ラジオ局等の地域密着型情報番組で番組内パブリシティ(ミニコーナー)を放送し、加入者への呼びかけを行っていく。	1,650千円	FM Nack5のラジオ番組内の情報コーナーを活用し広報実施。 ①健診について ②生活習慣病について ③協会けんぽの取組について ④リスナーからの健康診断に関する質問に回答 ⑤健康経営について ⑥健康経営におけるサポートと労働局からみた健康経営 ⑦健康診断・保健指導について ⑧リスナーからの健康診断に関する質問に回答	3,300千円	200.0%	令和4年度も番組内でのツイッターの反響やリスナーから多くの質問をいただき、「リスナーからの健康診断に関する質問に回答」のコーナーを2回設け、健康診断や健康づくりに対して関心を持っていた内容が放送できた。	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
健診経費		継続	健診実施機関実地指導旅費	旅費	60千円	旅費	11千円	19.4%	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため訪問を縮小。	継続
	事業者健診の結果データの取得	継続	事業者健診データの取得 勧奨	・労働局及び埼玉県との連名チラシを用いた事業所への文書勧奨の実施、支部職員による電話及び訪問勧奨の実施 ・委託業者を利用した事業所への電話及び文書勧奨の実施 ・委託業者を利用した事業者健診結果(紙)および質問票に関するパンチ業務委託	26,362千円	・労働局及び埼玉県との連名チラシを活用 ・中規模、小規模事業所に対する文書・電話勧奨を実施 ・委託業者による健診機関宛対象者一覧リストの作成・発送 ・委託業者による事業所宛て健診結果(紙)提供依頼発送業務 ・委託業者による健診結果(紙)パンチ業務 令和3年度事業者健診結果データ取得件数:55,834件	12,068千円	45.8%	事業所規模別に支部職員、外部業者、関係機関と連携し計画通り結果データ取得勧奨を行うことができた。	継続
	集団健診	継続	集団健診および集団保健指導の実施	埼玉県内全域において集団健診(歯科健診付加、市町村とのがん検診同時実施含む)及び保健指導を実施する。	25,155千円	埼玉県内全域において、協会が主催する集団健診、もしくは自治体のがん検診と同時実施する集団健診を実施。 集団健診(がん検診と同時実施を含む)全ての会場において、健診当日の保健指導を実施。 20会場で歯科健診を実施。 ・勧奨数:約16万件 ・受診者数:15,409人(がん検診同時実施:1,562件、協会主催の集団健診:13,847件) ・特定保健指導当日初回面談(分割):1,063人	27,262千円	108.4%	健診実施日数(会場数)が8日間増えての実施となった。健診日が増え、申し込みしやすい(選びやすい)環境であったため、申込者数、受診者数が増えた。	継続
	健診推進経費	継続	生活習慣病予防健診(A)	健診機関等と連携し、健診の実施率向上、事業者健診健診データの早期提供を図る。	367千円	日曜健診(本人):372件 結果データ取得:17,504件 日曜健診(家族):183件	124千円	33.8%	健診実施数、事業者健診データ取得数ともに前年度を上回った。	継続
継続	事業者健診データ取得(B)	7,079千円	3,763千円		53.2%		継続			
継続	特定健診(C)	215千円	35千円		16.5%		継続			

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
健診経費	健診受診勧奨等経費	継続	健診受診勧奨用リーフレット等の作成(年次案内)	年次案内や新規加入事業所、新規加入被扶養者等への健診案内時に同封するパンフレット等を作成。 生活習慣病予防健診実施機関において健診結果に同封していただくチラシの作成。	7,282千円	・生活習慣病予防健診及び被扶養者の特定健診受診率向上のため、期首に発送する健診のご案内パンフレット等の作成。 ・健診機関が健診結果に同封するチラシの作成。 事業所5種:100,000件、被扶養者9種:247,000件、任継3種:14,500件、健診機関(受診者)1種:350,000件	5,141千円	70.6%	引き続き埼玉県と連携し、案内の中に県疾病対策課のコラム等を掲載し、受診率及び健診への理解が向上するよう努めた。	継続
		継続	受診勧奨横断幕の掲出及びがん検診の新聞広告の掲載	特定健診(被保険者・被扶養者)受診率向上のため、4団体(埼玉県、医師会、国保連、協会けんぽ)で共同してさいたまスーパーアリーナへの横断幕を掲出。また、併せて地元新聞紙及び地元ラジオにおいて、がん検診受診率向上のに向けたピンクリボン運動の広報を実施する。	1,045千円	・さいたまスーパーアリーナへの横断幕の掲出。 ・FM NACK5ケンシン推進プロジェクト2022に参加。 ・埼玉新聞社のピンクリボン運動に参加。	632千円	60.5%	横断幕については、電車の乗客が健康診断に関心を持っていただけるよう、わかりやすい内容にしているため、関心を持っていただけたと考える。 ピンクリボン運動については、リスナー及び購読者に対して幅広く認知されたと思われる。	継続
		継続	新規加入事業所及び新規加入者への健診案内発送	新規加入事業所、新規加入被扶養者、新規加入任意継続加入者に対して健診案内を随時(月1回程度)発送する。	3,542千円	期中に新規加入した事業所、任意継続被保険者および新規に扶養認定された被扶養者に対し、健診案内の送付を行った。 6月～1月に月1回 年度合計 事業所:4,109件 任継:4,646件、扶養: 15,491件	2,033千円	57.4%	新たに加入した事業所への健診案内や、被扶養者に対し特定健診受診券(セット券)を発券することで、受診率向上及び協会けんぽの事業への理解につながるものと考えている。	無

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
健診経費	健診受診勧奨等経費	継続	健診未受診事業所への受診勧奨	健診・保健指導カルテを活用し、受診勧奨対象事業所を選定。勧奨対象事業所へ生活習慣病予防健診及び事業者健診結果データ提供についての勧奨文書を送付。	2,090千円	健診・保健指導カルテを参考に、全国平均から比べて健診受診率が低い小規模事業所を対象とし、受診勧奨を実施。 また、期首とは伝達経路を変更し、事業所ではなく事業主の自宅宛てに送付。生活習慣病予防健診対象者が4-7名の事業所。発送数:6842事業所。	268千円	12.9%	費用対効果を踏まえ、対象が4名以上の小規模事業所へ勧奨を行った。対象事業所の受診状況については今後検証予定。	継続
		継続	日曜健診にかかる案内文書の作成、発送業務	家族で一緒に健診受診をコンセプトに、生活習慣病予防健診及び被扶養者の特定健診のどちらも契約を締結している健診実施機関のうち、3月の日曜日に健診が可能な機関により実施。案内送付対象者は、被保険者及び被扶養者のどちらも健診未受診の方。	1,567千円	2月下旬から3月中旬の日曜に健診を実施できる期間を公募し、応募のあった8機関の周辺地域にお住いの被保険者、被扶養者ともに未受診の世帯へ受診勧奨を実施。発送数:40,062世帯 受診者数 被保険者:372名 被扶養者:183名。	757千円	48.4%	文章のみの案内から、イラスト等を活用した案内に見直しを行った。また、圧着形式の案内とすることで経費を抑えることができた。 対応機関数は減少したが、受診者数は71名増加した。	継続
		継続	加入者サービスのための健診予約状況照会サービスの導入	支部ホームページ上に生活習慣病予防健診予約状況が確認できるシステムを掲載し、健診機関が最新の予約状況を更新し予約状況の見える化を行う。	264千円	・支部ホームページ上に生活習慣病予防健診予約状況が確認できるシステムを導入し、健診機関が最新の予約状況を更新し、受診しやすい環境を作ることを目的に事業を実施。 ・参加機関数は129機関中42機関であった。	264千円	100%	人員不足のため対応できないといった理由から参加機関が増えず、参加した機関も更新周期がまちまちであり有効に活用できなかった。	無



# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	継続	未治療者受診勧奨	<p>・二次勧奨対象者であり、回答書の返信がない者と「受診予定なし」と返信してきた者に対し、委託業者より文書勧奨を実施する。</p> <p>・二次勧奨対象者であり、回答書の返信がない者と「受診予定なし」と返信してきた者に対し、委託業者より対象者(事業所)へ電話勧奨を実施してもらう。</p>	11,358千円	<p>① 二次勧奨1回目(文書): 回答書の返信がない者と返信ありでも「受診予定なし」と回答した者に勧奨文書を発送。内容は該当項目が血圧のみ・血糖のみ・両方該当の3パターンとした。なお、自宅住所付近の病院一覧を同封した。</p> <p>② 二次勧奨2回目(電話): 電話勧奨実施前に事業所宛に委託業者から電話がある旨の文書を送付した。電話勧奨は回答書の返信がない者と返信ありでも「受診予定なし」「受診予定」に委託業者より架電を実施した。</p>	9,951千円	87.6%	<p>架電対象者2,823名中、対象者に電話がつながったのは1,828名でコンタクト率は64.8%。 コンタクトできた1,828名中、受診している491名(26.9%)、近日中に受診予定18名(1.0%)、これから受診を検討する1,203名(65.8%)、受診する予定はない66名(3.6%)、その他50名(2.7%)であった。</p> <p>電話勧奨することで受診しようとする行動変容した群がいることから、効果はあったと考えられる。また、前年度比較で「受診する予定はない」者が378人(37.5%)から66人(3.6%)へ減少したことから、受診行動が戻ったと考える。引き続き、不通時の対応および架電時にトークスクリプトの更なる工夫をしていく。</p>	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度実施
重症化予防事業経費	重症化予防対策	継続	重症化予防対策	<p>・埼玉県で作成した糖尿病等重症化予防プログラムと連携し、重症化予防を実施する。医療機関へかかりつけ医推薦書を送付し、医師の推薦書記入があり、本人から参加同意書の提出があった対象者(他薦方式)と、対象者へ参加同意書とかかりつけ医推薦書を送付し、同意書及び推薦書の提出があった対象者(自薦方式)へ保健指導を実施する。</p> <p>・糖尿病の治療中断者(前回受診から6か月以上受診がない者)に対して受診勧奨を行う。</p>	18,620千円	<p>・埼玉県で作成した糖尿病等重症化予防プログラムに基づき、令和3年度の生活習慣病予防健診の結果から、糖尿病性腎症重症化分類を行いⅡ～Ⅳ期の対象者を抽出し、その後レセプトにより糖尿病治療中と判断される者を選定し、文書による参加勧奨を実施する自薦方式と郡市医師会やかかりつけ医と連携し、かかりつけ医に基準該当者を推薦していただく他薦方式による参加勧奨を実施した。</p> <p>・保健指導は、糖尿病性腎症Ⅱ期の対象者については4か月間(面談1回、電話3回)、Ⅲ、Ⅳ期の対象者については6か月間(面談3回、電話3回)で実施した。</p> <p>・令和2年10月診療分～令和3年3月診療分のレセプトデータから、「糖尿病」治療歴を有し、過去に糖尿病の服薬歴があり、6か月間に渡り糖尿病レセプトが確認できない者を抽出し治療中断者リストを作成し、文書により医療機関への受診勧奨を実施した。</p>	9,904千円	53.1%	<p>【自薦他薦方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加勧奨3,130名</li> <li>・保健指導開始者70名</li> </ul> <p>【治療中断者】</p> <p>受診勧奨した215名について、勧奨後のレセプトで受診を再開しているか確認し、14%(29名)の受診が確認できた。</p>	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	継続	禁煙対策 (禁煙チャレンジ制度)	禁煙チャレンジ制度を活用し、喫煙者に禁煙を促すとともに、禁煙時に禁煙宣言をしてもらい、3か月以上の禁煙成功者に認定証を交付する。なお、禁煙宣言時には、応援者(サポーター)を登録してもらい、周囲の人から禁煙をサポートしてもらう制度とする。また、禁煙を勧めるためのポスターなどを作成し、健康宣言事業所へ配布する。	220千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙チャレンジ制度参加勸奨</li> <li>参加勸奨リーフレットを配布。</li> <li>【配布】</li> <li>・健康宣言事業所</li> <li>・特定保健指導訪問時に配布</li> <li>・禁煙チャレンジ制度</li> <li>令和4年度は10人が新規参加</li> </ul>	0千円	0%	新規健康宣言事業所訪問時に制度を説明した。また特定保健指導訪問時に事業所担当者、喫煙者である特定保健指導対象者にチラシを配布して広報実施した。喫煙率を低下させたい事業所、禁煙希望加入者は潜在的に存在することから、対象を絞り込み、チラシ等を活用して継続的に広報を行うことが必要と考えている。	継続
		継続	埼玉県と連携した加入者の健康づくり事業 (コバトン健康マイレージ)	県の事業で、市町村及び参加団体(企業、保険者等)が、歩数計(スマホアプリ)を活用し加入者が取り組む健康づくり(ウォーキング、運動教室、特定健診の受診等)に対しポイントを付与し、県において貯まったポイントに応じた景品(抽選)の配付やランキング上位者の表彰を行う。	1,000千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防健診、特定健診の案内、健康保険委員だよりにチラシを同封</li> <li>・納入告知書同封チラシ、社会保険協会発行の広報誌に記事を掲載、メールマガジンでの広報</li> <li>・健康経営埼玉推進協議会主催で令和4年11月に当該スマホアプリを使用し、企業対抗の歩数競争(コバトンウォーキングチャレンジ)を実施</li> </ul>	550千円	55.0%	埼玉支部加入者の利用者数は令和3年度末より1,000人以上増え、4,916名となり、さらに企業対抗のコバトンウォーキングチャレンジの参加者は埼玉県全体で2,875名が参加した。多くの参加者に運動に対する関心を持って頂いたと考えている。	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	継続	健康経営の普及・促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営及び健康宣言に係るリーフレットを作成し、事業所へ訪問・郵送により健康経営の普及および健康宣言の参加勧奨を行う。</li> <li>健康経営埼玉推進協議会を定期的に開催し、埼玉県、さいたま市、協力事業者と連携して健康経営の取り組みを促進する。</li> <li>健康宣言を行った事業所から取組実績を報告してもらい、優良な取組を行っていた企業は、健康経営優良企業として認定。</li> </ul>	1,386千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営サポートカルテ送付時に健康宣言応募用パンフレットを同封し、参加勧奨を実施</li> <li>企業において健康経営を行うにあたってその進め方や活用できる資源をまとめた健康経営推進の手引き(事例集)を配布。</li> <li>健康経営埼玉推進協議会を2回開催し、協同で開催する取組み等(健康経営セミナーや企業対抗コバトンウォーキングチャレンジ等)について協議を実施。</li> <li>健康宣言時に小川和紙を使用した健康宣言証を交付。宣言後1年間の取組状況を確認し、一定以上の取組を実施している企業を「健康優良企業」として認定証(アクリルフレーム)を交付し、見える化を図った。</li> </ul>	294千円	21.2%	健康経営推進協議会に埼玉労働局も参加することとなり、健康経営の推進に向けて県内の連携が強固になった。健康宣言事業所数は837社でKPIを若干下回った。	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画					令和4年度事業実施結果					
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
コーポヘルス事業経費	コーポヘルス事業	継続	健康経営実践事業所好事例集の作成	セミナー等でアンケートを実施すると、優良な企業の取組みの情報共有についての要望が多い。健康経営に取り組んでいる事業所へ事例集を配布し、優良な取組みの情報共有を行うことで、健康宣言事業所の取組みの質の向上を図る	1,650千円	セミナー等のアンケートから、健康経営に係る企業の取組みの情報共有の要望が多かったことから、健康宣言を行っている事業所の取組み内容を精査し、16社を選定し取材を行い事例集を作成した。	2,181千円	132.2%	16社の事例を収集し、事例集を作成した。各企業の取組みの詳細な情報を掲載しており、これから健康経営に取り組む企業への参考となる事例集が作成できた。	無
		継続	健康経営に関する動画配信	優良な取組みを行っている企業や活用できるサポート内容を紹介し、YouTubeで配信。	1,650千円	セミナー等のアンケートから、健康経営に係る企業の取組みの情報共有の要望が多かったことから、健康宣言を行っている事業所の取組み内容を精査し、16社を選定し取材を行い、そのうち2社の取組み内容に係る動画を作成した。	2,216千円	134.3%	16社の事例を収集し、そのうち2社の取組みに係る動画を作成した。これから健康経営に取り組む企業への参考となる動画が作成できた。	無
		継続	健康経営の効果測定	・健康経営を研究している大学教授などに意見を聞き、健康経営の効果測定方法(アンケート等)の策定 ・健康宣言事業所とその事業所の従業員にアンケートを実施 ・アンケートを集計して、健診データ・レセプトデータ等と合わせて分析し、支部全体と事業所ごとの結果レポートを作成。事業所の結果レポートは事業所に配布。	2,073千円	健康経営を研究している大学教授に意見等を伺いながら、効果測定方法を検討している。情報収集のための事業主と被保険者に対するアンケート調査を予定しており、令和5年度以降の継続案件となった。	0千円	0%	-	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額(単位:千円)	事業実施概要	執行額(単位:千円)	執行率	評価	5年度実施
コロナヘルス事業経費	コロナヘルス事業	継続	スモールチェンジ活動等を活用した健康宣言事業所のサポート	健康宣言事業所が増えているが、従業員への情報提供だけの形式的な取り組みに終わっている事業所が見受けられる。しかし、健康経営の目的達成のためには、従業員ひとりひとりに健康づくりの意識を持って取り組んでもらう必要がある。健康宣言事業所に対して、スモールチェンジ活動等を推進することにより、企業の健康経営の取組みの一環として、各従業員に健康づくりに取り組んでもらえるようにする。	660千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康宣言事業所の中でコロナヘルスを希望する事業所において、従業員に「スモールチェンジ目標」を設定して実践するスモールチェンジ活動を実施し、従業員自ら行動変容を促す取り組みを実施した。</li> <li>健康経営のフォローアップ委託業務は検討した結果、実施には至らなかった。</li> </ul>	0千円	0%	令和3年度までは早稲田大学と共同で当該活動の研究を実施していたため、チラシ作成やアンケート実施方法を検討したが、計画を変更し実施しないこととした。ただし、当該活動は健康宣言事業所の取組みとして有効なため引き続き案内は実施している。	無
	情報提供ツール	継続	健康経営サポートカルテの作成	加入事業所の健康度を「見える化」するため、健康経営サポートカルテを作成して、事業主・従業員加入者の健康づくり意識の醸成を図る。	6,325千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者数30人以上の事業所を対象として、健康経営サポートカルテの発送を実施。</li> <li>支部担当者がデータ等の入れ替えを容易に行い、随時カルテを作成できるツールを委託により作成。</li> </ul>	4,009千円	63.4%	サポートカルテに同封したアンケートより、98%以上の方が参考になったと回答があった。	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額(単位:千円)	事業実施概要	執行額(単位:千円)	執行率	評価	5年度実施
その他の経費	その他の保健事業	継続	埼玉県等と協働した健康づくりイベント等での健康相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベント等において血管年齢測定および健康相談を実施する。</li> <li>・連携協定を結んでいる団体(埼玉県健康長寿課)との共同事業としてイベントに参加し、県民に健康づくり意識を広める。</li> </ul>	400千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スリーデーマーチ</li> <li>・県庁オープンデー</li> </ul> 健康増進のためのウォーキングを推奨するイベントに埼玉県と協同でブース出展し、更なる健康づくりの重要性を広報。また、血管年齢測定を通じ、健康づくり意識の向上や行動変容のきっかけとした。	168千円	42.2%	来場者30,000人を超えるイベントにおいて、健康増進のきっかけとなるブースを展開できた。年齢層は比較的若いイベントを選定しており働く若い世代へのPRになったものと考ええる。	継続
		新規	未治療者に対する0次勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業対象者</li> <li>生活習慣病予防健診受診者のうち、血圧・血糖値において下記の値を超えた者</li> <li>収縮期血圧 180mmHg以上</li> <li>拡張期血圧 110mmHg以上</li> <li>空腹時血糖 160mg/dl以上</li> <li>HbA1c 8.4%以上(NGSP値)</li> <li>◆事業スキーム</li> <li>健診機関が健診結果を送付の際に、上記の対象者に受診勧奨のリーフレットと、医療機関の外来日程表を同封する。または、健診日等に対象者に対し直接受診勧奨を行う。</li> </ul>	3,916千円	生活習慣病予防健診契約機関127か所中、48機関と契約(37.8%)。令和4年4月から健診結果に受診勧奨リーフレット同封することに加え、対面及び電話での受診勧奨を追加。リーフレット同封 1,117人 対面 263人 電話 84人	885千円	22.6%	現時点で効果検証はできていないが、健診受診直後に健診機関からタイムリーに受診勧奨できたことは早期受診につながるのではないかと考えている。	継続
		継続	大学と共同研究した重症化予防に関する分析	重症化予防(糖尿病重症化予防プログラム、未治療者対策)を効果的・効率的に行うために健診・指導データの分析結果からアドヒアランス(健康関連行動)診断、将来のリスク分類を行い、対象者に合わせた介入を行う。	1,980千円	大学教授に意見等を伺いながら、効果測定方法を検討している。情報収集のための事業主と被保険者に対するアンケート調査を予定しており、令和5年度以降の継続案件となった。効果測定方法を検討しているところであり、具体的な着手までには至らなかった。	0千円	0%	—	無

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
その他の経費	その他の保健事業	継続	糖尿病重症化予防にかかる分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病等重症化予防対策を実施してきたなかで、医師会やかかりつけ医から治療中断者の受診勧奨もしっかりすべきとの意見等もあり、平成30年度に人工透析患者の分析と併せて、治療中断者の抽出を行い、受診勧奨を行うこととした。治療中断者の抽出は外部委託し、対象者リストを作成していただき、支部で対象者に案内を送付する。</li> <li>・令和4年度についても、大学等と連携した共同分析を行うため、外部委託してレセプトデータや健診結果を匿名加工し、大学等に提供する。</li> </ul>	7,480千円	大学等と連携した共同分析を行うため、分析用データを作成した。(大学等に提供及び分析は令和5年度以降予定)	4,950千円	66.2%	次年度以降スムーズに作業を進められるよう、加工方法の設計資料を作成した。	継続
		継続	健康経営情報交流会	<p>健康経営の質の向上を図るため、健康経営実践企業間の情報交換会を開催し、講師による講演や実践企業間どうしの情報交換を行う。</p> <p>他の事業所の模範となるような取組や課題等を共有することにより健康経営の質の向上につなげていく。</p>	825千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度に実施したアンケートで、健康経営の課題として意見の多かった食とメンタルをテーマに健康経営セミナーを実施。</li> <li>・後日、YouTubeでもセミナーの動画を配信。</li> </ul>	0千円	0%	114名がセミナーに参加し、アンケート結果、99%が参考になったと答えた。メンタルヘルス関連のセミナーとして開催したため、執行なし。	継続



## 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和4年度)

令和4年度事業計画						令和4年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	5年度 実施
その他の経費	その他の保健事業	継続	メンタルヘルス対策セミナー	事業主及び事業所福利厚生関係者等を対象に、企業におけるメンタルヘルス対策を推進することで、従業員等加入者の健康増進やQOL向上を目的とし、産業保健総合支援センターをはじめとする連携協定団体や大学教授等の有識者などを招いて、メンタルヘルス対策セミナーを開催する。	595千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策として地区ごとの小規模な意見交換会を予定していたが、一定程度収まってきた状況を踏まえ、健康経営セミナーを実施することとした。</li> <li>・R3年度に実施したアンケートで、健康経営の課題として意見の多かった食とメンタルをテーマに健康経営セミナーを実施。</li> <li>・後日、YouTubeでもセミナーの動画を配信。</li> </ul>	547千円	92.0%	114名がセミナーに参加し、アンケート結果、99%が参考になったと答えた。	無